



総合交通メールマガジン 第6号

平成20年12月25日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 川西参事官室

目次



Topics

- ・平成21年度予算「モビリティサポートモデル事業」について
- ・「自律移動支援プロジェクト」の取組について



地域の取組紹介

- ・丹後広域観光キャンペーン協議会
- ・イーグルバス株式会社
- ・長野県上田市
- ・東京都文京区
- ・社団法人八戸観光コンベンション協会・八戸広域観光推進協議会



Information

- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



編集後記

Topics



平成21年度予算「モビリティサポートモデル事業」について

(国土交通省 政策統括官付 参事官室)

国土交通省では、平成21年度から、地方公共団体等が実施する、ユビキタス技術（ucode）を活用し、あらゆる歩行者が移動に関連する必要な情報をいつでも、どこでも手に入れることができる街づくりを目指した取組を支援するため、「モビリティサポートモデル事業」を創設します。

モビリティサポートモデル事業について、詳細は現在調整中ですが概要は以下の通りです。

- (1) 来年度初めに、地方公共団体を構成員に含む協議会から、ユビキタス技術（ucode）を活用することによって、あらゆる歩行者が移動に関連する必要な情報をいつでも、どこでも手に入れることができる街づくりを目指した取組を募集します。
- (2) モデル事業実施箇所は、中立的な委員で構成される委員会等の意見を踏まえ、先進性、全国的課題・地域共通課題との対応等、という観点から評価し、選定します。

(3) 選定された箇所に対しては、委託調査として、1件当たり1,000万円程度の支援を行います。

(4) 委託調査で支出できるのは、事業実施準備のための費用、周知のための費用、情報提供の取組に係る費用、各種調査のための費用を想定しています。

※ なお、今回のモデル事業は調査委託という形をとりますので、恒久的な施設整備（位置特定インフラ）に係る費用は委託経費の対象外となります。ただし、調査委託の目的を達成するために必要最小限の機器類については、リースやレンタルに限って経費の対象とすることが可能です。

本事業について、ご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせ下さい。

◆◆問い合わせ先◆◆

国土交通省 政策統括官付 参事官室

課長補佐 竹林 秀基 Tel : 03-5253-8111(内線 53-112)

E-mail : takebayashi-h2hs@mlit.go.jp

主 査 大坪 祐紀 Tel : 03-5253-8111(内線 53-115)

E-mail : ootsubo-y2k2@mlit.go.jp

 「自律移動支援プロジェクト」の取組について（国土交通省 政策統括官付 参事官室）

今年度の「自律移動支援プロジェクト」では、全国5地区（東京都中央区銀座、岐阜県高山市、愛知県豊田市、兵庫県神戸市、奈良県奈良市）において、実証実験を実施する予定です。このたび、神戸市と奈良市の実験期間等が決まりましたので、ご案内します。

◇兵庫県神戸市（神戸地区）

【実験期間】平成21年2月6日（金）～2月26日（木）火曜除く

【実験エリア】三宮駅周辺エリア、南京町、神戸空港

【HP】<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/jiritsu-project/kobe/index2008.html>

◇奈良県奈良市（奈良地区）

【実験期間】平成21年1月20日（火）～2月8日（日）

【実験エリア】奈良公園エリア、西の京エリア

【HP】<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/jiritsu-project/nara/index2008.html>

実験では、情報端末（貸出）を持って実験エリア内を自由に散策しながら、現在地から目的地までの最短経路やバリアフリー経路の探索・案内、周辺の観光情報や店舗・施設情報の提供等のサービスを体験して頂き、体験終了後、アンケートに回答頂きます。

現在、実験参加モニターを募集していますので、参加ご希望の方は、上記のHPから事前にお申し込み下さい。

他の3地区についても、平成21年2月頃の実験実施を予定しており、実験期間等が決まりましたら、記者発表、HP等でご案内しますので、ご覧下さい。

また、自律移動支援プロジェクトに関連するイベントとして、「TRONSHOW2009」が、12月10日（水）～12日（金）に東京ミッドタウンで開催されました。

このイベントは、ユビキタス技術（ucode）等によるさまざまな応用などの最新成果を紹介するもので、国土交通省においては、谷口和史国土交通大臣政務官がオープニングセレモニーに出席し、情報通信技術を最大限に活用することによりユビキタス技術をどこでもだれでも使える社会の早期実現を期待する旨のあいさつを述べました。また、政府パビリオンで自律移動支援プロジェクトが紹介されました。

地域の取組紹介

丹後広域観光キャンペーン協議会(京都府丹後広域振興局農林商工部商工労働観光室)

第5号の**Topics**で紹介した「観光圏整備実施計画」のうち、交通移動の利便性向上に関する取組事例を、丹後広域観光キャンペーン協議会より「海、里、山の豊かな資源を活かした『丹後地域観光圏』の形成 ～ゆるり ぐるり ほっこり 丹後の創出へ～」と題して紹介頂きます。

丹後地域観光圏では、周遊性を確保するために上限200円バスや電車、バス、船、ケーブル等を併せたフリーパス、船を活用した海上タクシーなどの取組が行われています。

【丹後広域観光キャンペーン協議会の取組】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/tango-kyoto0812.pdf>

丹後広域観光キャンペーン協議会ホームページ：<http://www.tangokankou.jp/>

イーグルバス株式会社

第5号で紹介して頂いた運行ダイヤ最適化によるコストと品質の改善を目指した事例の続きを、イーグルバス（株）より紹介頂きます。（全2回のうち第2回）

イーグルバス（株）では、路線バスの運行ダイヤ最適化にあたって、これまでに2回のダイヤ改定と3回のアンケート調査を実施しています。今回は、ダイヤ改定を評価するために実施した第2回アンケート調査と、その調査・分析結果を基に実施した第2回ダイヤ改定及び第3回アンケート調査並びにこれまでの取組により分かってきた課題等についてです。

【イーグルバス（株）の取組】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/eagle-bus0812.pdf>

イーグルバス株式会社ホームページ：<http://www.new-wing.co.jp/bus/outline.html>

長野県上田市

存続の危機に陥った鉄道の再生への取組事例として、長野県上田市より「『乗って残そう！別所線』 ～別所線再生支援の取組み～」と題して紹介頂きます。

上田市では、関係する25団体により別所線再生支援協議会が設立され、鉄道事業者・地域の住民等が一体となって「乗って残そう」をキーワードに様々な利用促進策に取り組んでいます。先日、これまでの協議会の取組が評価され、「平成20年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受賞しました。

【上田市の取組】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/ueda-nagano0812.pdf>

上田市役所ホームページ：<http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/index.html>



東京都文京区

コミュニティバスの回数券相互利用の取組事例として、東京都文京区より「地域連携の取組み ～Bーぐると北区コミュニティバスの回数券相互利用～」と題して紹介頂きます。

初めて交通部署に配属された担当者が回数券の相互利用を導入するまでの一連の経緯等について、詳しく述べられています。

【文京区の取組】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/bunkyo-tokyo0812.pdf>

文京区役所ホームページ：<http://www.city.bunkyo.lg.jp/index.html>

文京区コミュニティバス「Bーぐる」ホームページ：

http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki_busyo_kumin_jigyuu_b-guru.html



社団法人八戸観光コンベンション協会・八戸広域観光推進協議会

乗合タクシーの利用により、地域の特性を活かし、他の地域にはないオリジナルの観光資源の創出を目指した取組事例として、社団法人八戸観光コンベンション協会より「はちのへ『朝めし』『朝ぶろ』乗合タクシー“八戸あさぐる”」と題して紹介頂きます。

八戸市では、観光庁が実施している「平成20年度観光産業のイノベーション促進事業」に係る実証事業の支援を受け、平成21年2月中旬まで、名物の「朝市」と「早朝銭湯」を乗合タクシーで巡るサービスを実施しています。

【(社)八戸観光コンベンション協会・八戸広域観光推進協議会の取組】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/hachinohe-aomori0812.pdf>



社団法人八戸観光コンベンション協会ホームページ：<http://www.hachinohe-cb.jp/>

八戸広域観光推進協議会ホームページ：<http://www.area-hachinohe.jp/>

八戸市役所ホームページ：<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>

Information

総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

地域の取組募集！！

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、13件の取組を紹介させて頂きました。



今年最後のメールマガジンでは、八戸市の紹介による記事を掲載しました。観光PRを兼ねたものなどでも構いませんので、各地の取組をお待ちしています。他にも多数の事例を掲載しますので、ご意見等お寄せ頂ければと思います。また、自律移動支援プロジェクトの実証実験も各地で始まりますので、興味のある方は是非ご参加下さい。

今年ももうすぐ御用納め。長いようで短い一年でしたが、皆様はいかがでしたでしょうか？
今年7月から始めた「総合交通メールマガジン」も、皆様のご協力のもと、継続して配信できています。少しずつ配信希望の問い合わせも多くなってきています。来年も引き続き皆様にご協力頂きながら、様々な取組事例などを紹介できればと思っています。来年も「総合交通メールマガジン」をよろしく願いいたします。

良いお年をお迎え下さい。

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 メールマガジン担当 いそがわ 五十川、辻本

TEL : 03-5253-8111 (内線53-113、53-115)

FAX : 03-5253-1675

E-mail : soukou@mlit.go.jp

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

